

## 第2学年 図画工作科学習指導案

単元名 ざいりょうのへんしん（5時間）

### 目 標

- ・ 美術館の作品に主体的に関わり、作品について想いをめぐらせ鑑賞を楽しむ。
- ・ 身の回りの材料の特徴から、生き物の形を想像し、作り方を工夫して作る。
- ・ できたものについて友達と話し合い、作ったものを学校のどこに飾るか考える。

### 学習過程

時	学習活動	発問・教師の働きかけと支援・留意点
1 ※	<p>1 三沢厚彦＋豊嶋秀樹《ANIMALS》を鑑賞する。</p> <p>(1) 作品から気付いたことを話し合う。</p>	<p>○「あいちトリエンナーレ」（愛知芸術文化センター）に出かけ、三沢厚彦＋豊嶋秀樹《ANIMALS》を鑑賞しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品を見て自由に感じたことを話し合う。</li> <li>・ 友達の感じたことを聞いて、作品に対する思いを共有する。</li> </ul>
2 く 5	<p>2 身の回りの材料から、いろいろな形を想像し、生き物をつくる。</p> <p>(1) 材料をいろいろな方向から見て、その形や色を楽しむ。</p> <p>(2) 材料を何かに見立てて、飾りをつける。</p> <p>3 自分や友達の見立てたものを見せ合い、話し合う。</p> <p>4 できたものに名前をつけたり、自然の中や身の回りに飾ったりする。</p>	<p>○この材料を使って、どんな生き物ができるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家で不要になった身近材などを持ち寄り、持ってきた材料を楽しく鑑賞させる。</li> <li>・ 材料を並べながら角度を変えたり、置き方を変えたりしながら、いろいろな発想を楽しむよう言葉がけをする。</li> <li>・ 描画材を生かしたり、目の形や位置を紙などにかいて貼り付けたりして、よりらしく見えるように工夫させる。</li> <li>・ どんな思いで、どんなふうに工夫して作ったか、作品を見せ合いながら話したり、聞いたりする。</li> <li>・ 出来上がった作品を共感的に受け止め、一人ひとりの子どもたちの思いや願いに合った言葉がけを行う。</li> <li>・ どこに飾ると、作品が生きてくるのかを考えながら、校内のどこかに飾る。</li> <li>・ 子どもたちの作品が生きるような配置の仕方や、作品の残し方(デジタルカメラで撮影するなど)を工夫する。</li> </ul>

※ 会場での鑑賞時間数は、適宜とする。